

園和北小学校の現状と課題（全国学力・学習状況調査をもとに）

冬の訪れとともに、平成 27 年も残り少なくなってきました。日頃から本校教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度の 4 月に 6 年生の児童を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。全国学力・学習状況調査では、今年度は小学校 6 年生で国語、算数、理科の 3 教科と、生活状況について児童にアンケートを取る児童質問紙の調査があります。国語、算数については、A 問題(主に「知識」に関する問題)と、B 問題(主に活用に関する問題)があります。また、3 年ごとに理科の調査も行われることになっており、今年度は実施年にあたっています。

その結果を考察し、学校での対応を考えることにより、今後の園和北小学校の児童の学力向上に努めていきたいと考えています。

1. 国語について

- ・正答率は全国平均に比べて A 問題はわずかに低い。領域別にみると「話すこと聞くこと」は上回っているが、それ以外は下回っている。
- ・B 問題については、全国平均とはほぼ同じである。特に「読むこと」は全国平均を上回っている。今後は、「書くこと」の指導に力をいれていく必要がある。
- ・全問正解が少ない。

2. 算数

- ・A 問題は全国平均をわずかに上回っているが、領域別にみると上回っているのは「数と計算」のみである。今後、文章題の練習が必要である。
- ・B 問題はわずかに下回っているが、「おつかい」などの生活に基づいた問題はできている。

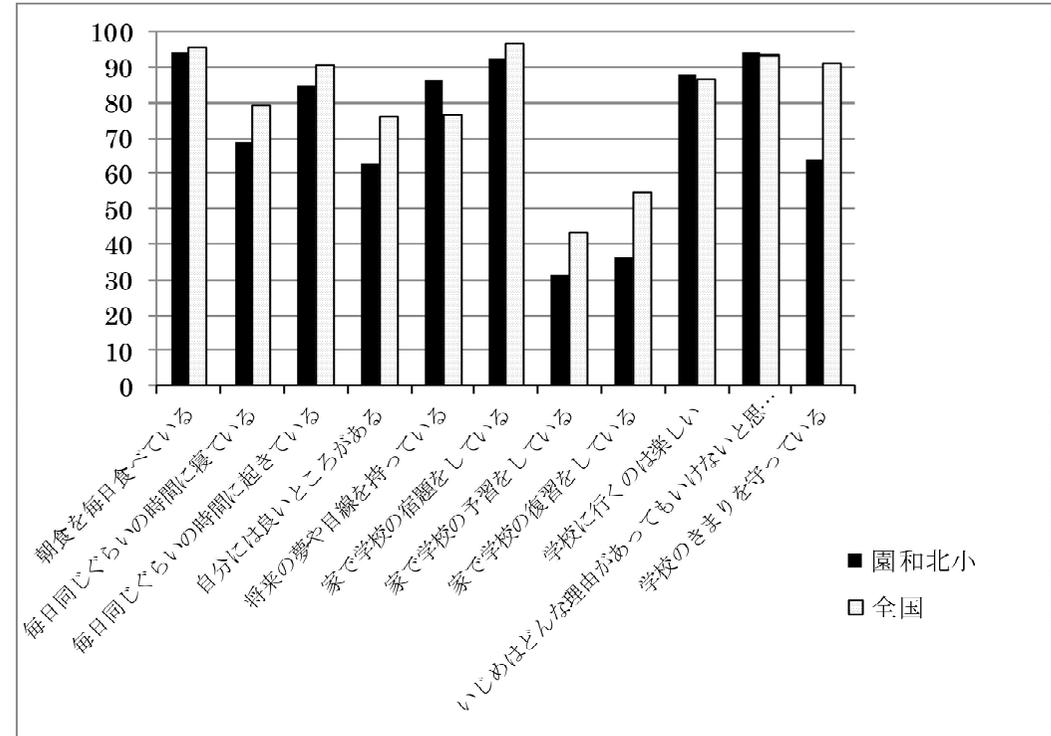
3. 理科

- ・「知識」に関する問題では全国平均を下回っているが、「活用」に関する問題では全国平均をわずかに上回っている。

4. 児童質問紙について

- ・生活アンケートでは全国平均と比べても気になる項目が多い。
- ・朝食はほぼ全員食べているが、寝る時間や起きる時間が不規則な児童が多い。
- ・将来の夢や目標は持っているが、自分に自信を持っていない児童が多い。
- ・家で予習・復習をしている児童は少なく、家庭学習の時間が短い児童も多い。
- ・学校に行くことが楽しいと感じている児童の割合は高い。
- ・学校のきまりを守っている児童の割合は、全国に比べても低い。
- ・ほとんどの児童が、どんな理由があってもいじめはいけないことだと思っている。

児童質問紙より



全国学力・学習状況調査から考察できる、園和北小学校の児童の実態については上記のとおりです。学力については、着実によくなってきており、子ども達も力をつけてきています。今後とも、子ども達に意欲や自信を持たせるような声かけを家庭でもお願いします。

また、学校としては、

- ・「学習規律のてびき」をもとに、1 時間 1 時間の授業を大切にします。
- ・「家庭学習のてびき」を参考にして、宿題だけではなく、予習復習をする習慣をつける。
- ・基礎・基本の定着をはかるとともに、授業においても活用問題等に取り組み、「考える力」の育成に努める。
- ・教室の掲示物を工夫するなど、環境整備に努める。
- ・宿題を徹底して提出させる。
- ・読書活動を充実させる。
- ・新聞づくりなどの言語活動を推進していく。

等、学校全体で統一した取り組みを行い、子ども達の学力向上に努めたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。